

平成30年2月10日、秋田市北部市民サービスセンター内の和室2間を借りて、ソリューションカンファレンスを開催しました。もともと年間スケジュールにはなかった企画ですが、近年女性技師が増えていることにより生じている課題や悩みがあれば共有したいという思いと、「救理《を会員に広く知ってもらうためにもまずは集まることからやってみたいという挑戦の企画でした。育児している女性技師が集まりやすいように子供連れ可としたことで、全県各地から20代～50代すべての年代の方に来ていただくことができました。産休中の方、技師の仕事を現在していない方など含め11名の女性技師が集まり、お子様は6名、総勢17名に参加していただきました。会の始めには自己紹介を行い、その後はお子様も交えてフルーツバスケットやいす取りゲームで体を動かしました。思いのほか盛り上がったことで参加者の緊張が和らぎ、その後の意見交換の際の発言しやすい雰囲気づくりの一環になったと思います。休憩をはさんだのち、平成26年に実施された女性技師の職場環境に関するアンケート結果を参考にしながら意見交換が行われました。主に産休・育休に関するテーマについて、リラックスした雰囲気の中で参加者全員が発言することができていました。妊娠を上長に告げるタイミングや産休に入った時の人員補充、また生理休暇の意義についてなど、各施設間での違いを目の当たりにしたと共に、みなさん悩んでいたのだなと感じました。妊娠中のMRI勤務については今まで議論されることが少なかった問題なので興味深かったです。昼食を食べながら今後の救理に期待することなどフリートークをして、13時には解散となりました。

今回は企画の周知期間が一月と短かったのですが、会員非会員に関わらずこれだけの人数が集まったことにほっとしました。意見交換では今まで個人で抱え込んでいたであろう悩みや問題を共有できたことが収穫でした。

(文責 高

橋)



